



〈発行〉  
 社会福祉法人青森県すこやか福祉事業団  
 特別養護老人ホームすこやか苑  
 〒030-0947 青森市大字浜館字間瀬 85-6  
 TEL 017 (757) 8122 / FAX 017 (757) 8126  
 ホームページ <http://sukoyakaen.com/>

※広報に記載の写真は、承諾を得たものを使用しています。



# 敬老の日



今年度も入居者様の長寿をお祝いするため「敬老会」を開催しました。コロナウイルス感染症拡大防止のため、入居者様が一同に会する機会が少ない中で、感染対策を行いながら、1階ユニット（つがる・ほくと）、2階ユニット（ふじ・おうりん）、それぞれ合同で実施し、賑やかな雰囲気でお祝いすることが出来ました。

つがる、ほくとユニットでは百寿、卒寿、米寿を迎えた方がそれぞれ1名ずつおり、記念品の贈呈を行いました。百寿を迎えた入居者様には顕彰状、すこやか苑全職員からの寄せ書きと記念品を贈呈しました。笑顔も多く見られ、大変喜ばれている様子が見受けられました。記念品贈呈後、「我ら人生60から」を歌い、金屏風の前で入居者様全員で集合写真を撮影しました。

ふじ・おうりんユニットではそれぞれで1名ずつ、百寿を迎えられた入居者様がおり、職員からのメッセージ色紙、内閣総理大臣と青森県知事からの顕彰状及び銀盃を贈呈し、お祝いをさせて頂きました。少し緊張した面持ちで受け取られていました。百寿のお祝いの桃色のちゃんちゃんこはとてもお似合いでした。また、他の入居者様にも敬老のお祝いとして記念品やお祝菓子を贈呈しました。入居者様の普段見られないような笑顔を拝見することができました。

(大水支援員・阿部支援員)

## 「こころの縁側」事業へお邪魔しました！！

令和4年10月17日(月)自由ヶ丘町民会館、21日(金)古館地域市民館で、浜館地区社会福祉協議会主催の「こころの縁側」事業に講師として参加しました。「こころの縁側」事業は、高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らすために交流・参加ができる集いです。当日は当苑の紹介のほか、手遊びやストレッチ体操、室内ペタンクをチーム対抗で楽しみました。地域の中の施設として、今後も一員に加えていただけることを楽しみにしています。

(山道副主任支援員)

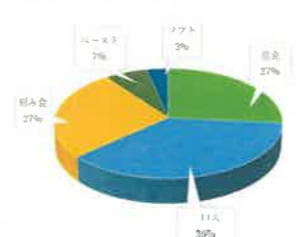


## 嗜好調査結果報告

◆主食の形態



◆主菜・副菜の形態



令和4年8月1日から8月31日までの期間で、入居者23名(胃瘵・入院中を除く)、短期利用7名の計30名を対象とした食事嗜好調査を実施いたしました。

調査項目として、主食・主菜・麺類・パン類・お弁当・苦手な食べ物・食事についての要望等、食事形態により嗜好に特色があると思われる項目は食事形態別に集計しました。

各項目ともに約60~80%の方が現在の食事に満足していただいております。月に2回実施しているお弁当メニューは、豪華でとても美味しい、いつも楽しみにしているという意見が出ていました。入居者様にとって食事は生活の一部であり、生きる楽しみの一つであると改めて感じる事が出来ました。それぞれの嗜好に合わせた食事提供は難しく、栄養面を考慮すると制限がありますが、健康状態・栄養状態を把握しながら笑顔あふれる食卓を続けられるよう、「楽しく美味しい食事」の提供を常に目指し、満足度向上につなげていきたいと思っております。

(千葉栄養士)

### 新任職員紹介



栄養士  
千葉 祐子

9月1日から八甲学園より異動になりました栄養士の千葉祐子です。入居者の皆様に美味しいと言ってもらえるような食事提供を心掛けていきますので、どうぞ宜しくお願い致します。

### 古布寄付のお願い

いつも古布の寄附にご協力頂きありがとうございます。まだまだ古布が不足しておりますので、使い終わって眠っている衣類や布がありましたら、ぜひ寄付をお願いいたします。

Instagramやってます

苑内の様子などを載せています。フォローよろしく願いします。



SUKOYAKAEN

つがる

10月23日(日)にハロウィーンを開催しました。入居者様、職員と一緒に魔女やデビルなどの仮装をし、「トリックアトリート」「ハッピーハロウィン」のかけ声を合言葉にお菓子を渡しなが写真撮影も行いました。仮装をしている最中、入居者様同士お互いの恰好を見て、笑いあう姿が見られ、とても盛り上がっていました。

(山上支援員)



おうりん

10月22日から1週間ほどかけてそれぞれの入居者様に秋の味覚の果物を召しあがっていただきとうとユニット行事を実施しました。ただ食べていただくだけではなく、樹木に見立てた案山子?に果物を吊るしておいて、各入居者様に実際に手に取っていただくという体験をしてもらい、収穫された果物は各入居者様に実際に召しあがっていただきました。

(須藤支援員)



ユニツト通信

ふじ

ふじユニットでは、個別支援の充実を図るため入居者様やご家族から聞き取りを行い、可能な限り実現をする取り組みを行なっています。

10月には「花火を見たい!」と夢を話してくれた入居者様に、100歳の誕生日もかねて花火の打ち上げを実施しました。11月には「青森駅を見たいな~」との夢を実現するため、感染予防対策を十分に行った上で、青森駅内を職員の付き添いの元、見学に行きました。

入居者様の夢を可能な限り実現することで、日常生活の中では中々見るこのできない素敵な笑顔を見ることが出来ました。

(阿部支援員)



ほくと

7月7日(木)に七夕会を開催しました。七夕(しちせき)は五節句のひとつで、笹を用いて行事をすることから別名「笹の節句」と呼ばれています。

ほくとユニットでも笹の葉を実際に用意し、短冊に願いを込めて笹の葉に飾って頂きました。願いごとの中には、「家に帰りたい」「いつまでも健康でありますように」「コロナが収束しますように」「美味しいものが食べたい」等の願いを書かれていました。

また、糖度16度以上のメロンを提供し、「甘くておいしい。」と評判でした。

(中村支援員)



文化祭

11月2日すこやか苑文化祭では、苑内イベントの写真展示、クラブ活動(書道クラブ、創作クラブ)の作品展示、個人作品展示、フォトスタジオでの写真撮影会、生花体験と展示を行いました。ステージ発表では入居者様全員で「紅葉」、「星影のワルツ」を歌い、職員の発表ではフラダンスを踊りました。フォトスタジオでは仮装をして頂き、撮った写真を見ては皆さん大笑いをし、職員のフラダンスでも沢山の笑顔がありました。声を出して笑って頂くことにより、日常のリフレッシュになって頂けたと思います。

(熊谷支援員)



祭

夏祭り

夏といえばやっぱりお祭りということで、8月20日に夏祭りを開催しました。新型コロナウイルス感染症対策で、昨年同様に1階と2階の入居者様それぞれに分かれて実施しました。

会場内に大きなスクリーンを設置し、今年3年ぶりに開催された青森ねぶた祭の映像を流し、夏らしさを演出しました。おつまみやノンアルコールのお酒を堪能され、とても嬉しそうに満足した表情が見られました。締めくくりに、入居者様と職員で盆踊りを踊り、思い出を作ることができました。

(三上支援員)

